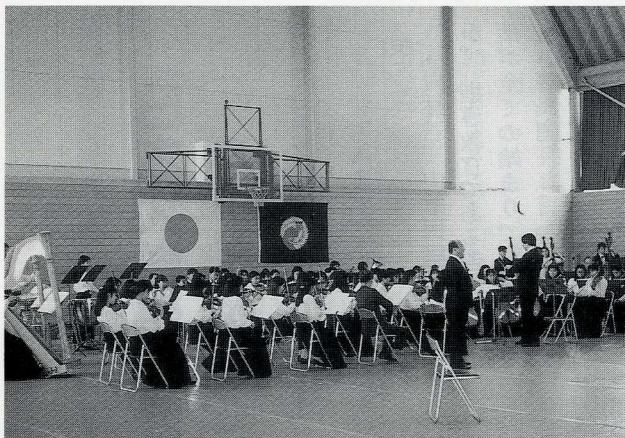


原田康夫新学長の就任挨拶行われる

就任挨拶行われる



五月二十五日(火)午後二時から、原田康夫新学長の就任挨拶が、西条キャンパスの東体育館で行われた。会場には各学部長や評議員、教官、事務官の他に学生の姿も見え、四百席用意された椅子が足りず、後ろに立つ人も。新学長は就任の挨拶で、「田中前学長が設定された路線を継承し、統合移転の完了と広大の新しい発展のために頑張りたい」と決意を表明するとともに、「西条キャンパスの環境整備のために学部の樹を決め、各学部が競って育てたらどうか。」など具体的なアイデアも提唱した。

声楽家でも知られる新学長は、この後早川教授（教育学部）指揮の広島大学教育学部音楽教育学の学生の伴奏で、イタリア歌曲「パッショーネ」と「オーソレミオ」の二曲をマイクなしで披露し、参加者の盛んな拍手を受けた。

大学にありがちなややこしいセレモニーのイメージとはちがい、新学長のエネルギーと行動力を示したものと、参加者の多くに好評であった。

●行事予定について

講演会・研究会等、全学的に広報したいと思われる行事について、本紙面で予告紹介して行きました。思いしますので、行事内容、日時、場所をお知らせください。

●原稿募集

『広大フォーラム』では、広島大学の教職員、学生の皆さんから広く原稿を募集していますので、奮って投稿してください。

広島大学広報委員会
広島市東千田町一丁目一番八九号
広島大学内
電話二四一一二二二二
(内線) 三五三九

大学祭のあり方に大幅改革 教職員主体の行事を取り入れ、 今秋から実施の方針

今秋から実施の方針

声楽家でも知られる新学長は、この後早川教授（教育学部）指揮の広島大学教育学部音楽教育学の学生の伴奏で、イタリア歌曲「パッショーネ」と「オーソレミオ」の二曲をマイクなしで披露し、参加者の盛んな拍手を受けた。

学生主体の大学祭の実状が、遊び中のものになり、幼児化やレジャー化が目立つようになって久しい。

学生委員会（西村清巳委員長、教育学部）では、こうした現状にメスを入れ、大学祭の意義とあり方について、四月以来四回にわたり精力的に審議を行い、このほど「広島大学にふさわしい大学祭の在り方」という統一見解をまとめ、六月二十二日の部局長連絡会の了承を得た。

それによると大学祭は、大学本来の教育と研究活動の活性化を図る有効な手段であり、全学的に取り組む必要がある。目的として以下の三点があげられる。(1) 学生の課外活動や教職員の文化・余暇活動の成果を公表する。(2) 学生、教職員、市民の参加できるイベントをとおして相互の親睦を深める。(3) 大学の教育・研究施設や、活動の成果を地域社会に開放し、地域の理解や関心を高め、大学の一層の活性化を図る。

具体的には、従来の西条祭を吸収し、学生団体による従来通りの自由な企画によるものと、新たに各学部を母体とした教職員による企画を加えて、全学

的行事として実施する。

開催時期は十一月一、二、三日の三日間とする。

組織運営は、学生の主催するものは従来どおり「大学祭実行委員会」が行い、教職員主体のものは各学部の準備組織が行い、学部間や全体の連絡と調整を学生委員会が行う。

学部主催の行事としては、二種があげられている。ひとつは教官による企画で、研究施設や成果の一般公開や講演会の開催などを含む教育・研究活動の学内外への公開。これは欧米の大学や研究所で行われている「オープン・ハウス」的な行事に近いものと思われる。もうひとつは教職員による文化・教育的活動の公開展示で、書画や写真等の展覧会など。

また全学部にまたがるものとして、音楽演奏会、体育施設を開設したスポーツ大会、バザー、市民対象のキャンパス・ツアーや等が検討されている。

理学部などすでにこの方針で準備に入った学部もあり、今年の秋から大学祭は大幅にイメージ・チェンジする見通し。